

会員各位

日本形成外科学会の財務状況及び将来像について～第2報～

2016年3月
一般社団法人 日本形成外科学会
理事長 細川 互
財務委員会
委員長 山本 有平

日本形成外科学会の財務状況について会員の皆様にお知らせいたします。

学会財務における4大支出項目は、1) 学会誌刊行経費、2) 事務局委託費、3) 理事会、評議員会等各種会議費、4) ホームページ、疾患登録データベース等管理費となります。昨年度の会員1名あたりの負担額は、約18,000円に及んでおり、現在の正会員年会費12,000円を大きく超えており、構造的な赤字体質となっております。ここ数年は、専門医認定・更新、特定領域指導医新設等の関連収入にて、少々の黒字財政を維持してきました。しかしながら、今後の展望として、日本専門医機構による新専門医制度発足や疾患登録データベースの改訂等の影響で、収入の減少さらに支出の増加が予想されております。会員の皆様には、日本形成外科学会の財務状況及び将来像が非常に危うい現状に置かれていることをご理解頂き、今年度よりの年会費の値上げについてご了承して頂きたく存じます。

新年会費の額に関しましては、正会員1名あたりの超過支出分を考慮し、また同規模の他なる基本診療学会の年会費を参照した上で、今年度より正会員新年会費：18,000円にさせて頂きたく存じます。また、現在、国際形成外科学会の活動が休止中であるため、専門医資格を有していた正会員よりお支払い頂いていました、国際年会費：1,500円の徴収は今年度より停止することをお知らせいたします。

本学会における健全なる財務基盤の確立の為、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。